

# 花 通 心



発行：NPO法人加古川緑花クラブ（KRC=Kakogawa Ryokka Club）

〒675-0111 加古川市平岡町二俣 884-14 （Tel/Fax：079-437-6252 ）

## ・・・令和3年度 通常総会開催・・・

令和3年5月26日（水）育苗園 講習室に於いて、昨年同様に出席者を、各花壇代表者、理事・監事候補者の14名に限定して、第16回通常総会を開催いたしました。出席者以外の会員82名は、議決権行使書（はがき）で書面表決して頂きました。（書面表決結果：承認78名、不承認ゼロ、棄権4名）

第1号議案「令和2年度事業報告、収支決算報告の件」、第3号議案「令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件」について、報告並びに提案され、いずれも異議なく満場一致をもって承認されました。

本年度は、理事並びに監事の改選年度のため、第2号議案「理事並びに監事選任の件」についても、次の候補者が選任され、その就任が承認されました。

理事：有川優一郎（理事長）、稗田隆久（副理事長）、西本恵子（副理事長）、井上和男、  
塩見俊郎、福島照明、長谷川啓、奥野恭子、秋田なをみ、児子益久

監事：満妙子、藤井正幸

以上をもって、通常総会を終了しました。

\*総会の後、加古川緑花クラブに入会して10年活動を続けてこられた会員に対して、感謝状と記念品を贈呈いたしました。

〈感謝状を贈呈した10名〉

伊藤 律子	五島 富佐子	十倉 聡	土井 恵子
長谷川 啓	藤原 孝篤	増本 久美子	満 妙子
山名 繁男	山崎 厚		

\*また令和3年度は下記の3名の新入会員を迎えました。

児子 益久	濱田 正信	中野 裕明
-------	-------	-------

コロナの収束も未だ見通しが立たず、私たちの活動にも様々な影響が出ていますが、今年もできることを地道に実行し、実りある一年を過ごしていきましょう。（理事長：有川優一郎）

## 氷丘小学校 校外学習・・・花壇づくり



6月7日 氷丘小学校3年生の児童120名が、フロント花壇に夏の花苗（ペンタスとインパチェンス）を植栽しました。始めに「花の育て方」と「花の植え方」の説明をしましたが、生徒の皆さんは、バインダーに挟んだ記録用紙に書き込みながら、熱心に聞いてくれました。その後クラスごとに、緑花クラブ会員の指導を受けながら、プランターで花苗を植える練習をし、本番の花壇へ植え込みをしました。当日は、公園緑地課の仲上課長や管理事務所の東保所長、安尾先生も、生徒の皆さんの体験学習をにこやかに参観下さいました。花が咲く不思議、成長への

興味、育てる思いやり、この体験が生徒の皆さんの心にも、花を咲かせてくれることを願って、初夏の校外学習のお手伝いを終わりました。



❀ 街角花壇だより ❀ 市内8か所の街角花壇は、6月初旬夏花壇に衣替えをしました。



神野駅北花壇



平野交差点西花壇



平野交差点東花壇



良野交差点花壇 1



良野交差点花壇 2



加古川駅南花壇



溝之口花壇



加古川駅北花壇



東加古川駅北花壇

会員だより・・・植物の個性を愛でる

【伊藤 律子】

今年の冬は例年よりも寒さが厳しく、植物たちは庭でひっそりと息を潜め、寒さに耐えていました。例年は寒さ除けに、多肉植物は窓外の手すりに並べて防寒していましたが、今年2月頃、取り返しがつかなくなった多肉植物もあり、残念でした。葉や茎が厚くユニークな形をしている多肉植物、アフリカや中南米など乾燥地帯が原生のものが多く、貴重な水分を葉や茎に蓄えて生き延びています。乾燥地帯と聞くと暑い砂漠の風景が思い浮かびますが、一年中「灼熱の地」というわけではないようです。アフリカ原産のハオルチアは、石などに埋もれた状態で育ち、株全体で日光を受けることができません。そこで葉先に透明な窓を作り、日光を葉の奥まで効果的に取り込んでいます。水分だけでなく光を取り込む工夫も備えた努力家の多肉植物、そんなげな面を知るにつけ、ユニークな姿をした彼らがより愛らしく思えます。



ハオルチア オブツサ



## 日岡山公園\*花壇巡り

### エントランスガーデン



「花とみどりのまちづくり講座」の中で、私たちが作った日岡山公園内の花壇を、シリーズで紹介しています。第6回は「エントランスガーデン(13期生)」と「ゴードサークル(16期生)」です。

公園入口のすぐ横にあり、春には白い花を咲かせるコブシの木がシンボルツリーの花壇です。2014年にまちづくり講座のカリキュラムとして再整備され、2015年からは13期生が管理しています。公園入口でお客様の目に触れることも多く、植栽する花や構図には毎回気をつけています。当初は12名で始めましたが、現在は6名となり高齢化と体力の限界が切実な問題ですが、来園の皆様にも目で見て楽しんでいただけるよう、ぼちぼち頑張ります。

(13期生：福島 照明)

### ゴード・サークル

レインボー花壇の南端2つの花壇は、16期生が主に担当しています。花と緑のまちづくり

講座の卒業後、この花壇の月一回の作業が貴重な交流の場になっています。上のひょうたん型の花壇は初夏のヘメロカリス、下の丸い花壇は秋のアメジストセージを中心に、季節の花で構成しています。花壇が緩い斜面にあるため、土がしまったり水やりにも注意が必要です。瓦で土留めしたりリュウノヒゲなどを植え付ける試みをしています。猛暑や極寒の花壇管理は難しく、自然の厳しさを痛感する日々で、失敗を糧にメンバーで勉強を続けています。

(16期生：成田 寿栄)



## ★ 6月の樹木観察会だより ★

### よみがえった日岡山の菖蒲(しょうぶ)園

今年6月、育苗園横の広大な菖蒲園は、見事な開花となりました。紫から白へのグラデーションを、育苗園へ集う私たちばかりでなく、多くの市民の皆さんが楽しまれたことと思います。6月の樹木観察会では、この菖蒲園の整備に携わられた、公園管理事務所の源田先生と3人のシルバーさんにお話を伺いました。

日岡山公園第3駐車場奥にある菖蒲園は、かつて6月の開花時期には沢山の菖蒲の花が咲き、多くの来場者を迎えていました。ところがここ数年、株が徐々に弱り、花も少なくなっていました。令和元年、私たちは、「何とか菖蒲を蘇えらせたい。」と3人で再生への挑戦を始めました。公園管理事務所の源田先生のご指導の下、菖蒲の苗を株分けして水洗いし、消毒して9~12cmのビニールポットで育てました。そして秋口に畑に定植しました。夏はひたすら草取りと水やりで、時間を見つけては草が小さいうちに引くようにし、水やりも3人で分担して、水を切らないよう気をつけました。肥料はニューコンポストなどを年4回施しました。そして2年が過ぎ、当初高さ30cm程だった株は、80~150cmにも成長し、一つの株に多いものは20個もの花芽をつけました。そして今年6月、見渡す限り白、うす紫、濃紫の菖蒲が、美しい景色を作り出してくれました。(長谷川 啓)

9月の樹木観察会は13日(月)

13:30 育苗園集合です。



